

具体的な施策の展開（案）前編 個別事業

令和6年(2024年)8月26日
函館市子ども・子育て会議資料

資料2-2

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
施策の方向1 地域における子育て支援 黄色で着色している事業は、現計画には記載しておらず、次期計画で追加を検討している事業です。						
1 地域における子育て支援サービスの充実						
(1) 家庭における子育て支援						
①	函館市子ども条例の推進		本条例は、全ての子どもが生まれながらにして持っている基本的な権利を尊重しつつ、力を合わせて全ての子どもの健やかな成長を支え、安心して子どもを育てることができる社会の実現をめざすことを目的として制定しており、その広報、啓発を図るとともに本条例に基づく各種事業を行う。	周知用クリアファイルの配布 ・市内小学5年生等 1,939部 メッセージカード 961枚	子ども未来部	子ども企画課
②	地域子育て支援拠点事業(子育てサロン)		子育て家庭における子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため、親子等の交流の場を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。	実施箇所数 13か所 ・子育てサロン 13か所 中央、花園、亀田港、美原、石川、鍛冶さくら、深堀、赤川、大谷港、つつじ、南かやべ、函館短期大学、大森浜 ・延利用者数 20,799人	子ども未来部	子どもサービス課
③	子育てサロン合同の取組		・子育てサロンの指導員が地域に出向き子育て支援活動を行う「地域支援活動」として、町会館等で「まめっこサロン」を実施する。 ・子育てサロンの周知により利用促進を図るため、乳幼児健診会場に出向き、「子育て支援コーナー」として子育てサロンの紹介を行う。 ・子育てサロンの周知により利用促進を図るとともに、子育て中の親子が集い様々な遊びを通じて交流する場を設け、子育て支援情報の提供や育児・栄養相談を実施し、子育て家庭の支援を図る。	・まめっこサロン 実施箇所数 4か所 実施回数 9回 ・子育て支援コーナー 実施回数 45回 ・サロン合同イベント 開催回数 2回 参加者数 「ちびっこ音楽の広場」 7月8日芸術ホールで開催:354人 「ちびっこあそびの広場」 10月28日サンリフで開催:237人	子ども未来部	子どもサービス課
④	子育て支援隊		子育て家庭における子育てに関する様々な悩みや相談に対応するため、コーディネーターを配置し、ケースマネジメントや関係機関との連携を図るとともに、子育てに関する悩みの傾聴や子どもとの遊び方の助言のほか、各種サービスに係る情報提供等を行う子育て支援員が家庭訪問する。	実施箇所数 1か所 延訪問回数 321回 実訪問世帯数 33世帯 コーディネーター数 1人 子育て支援員数 24人	子ども未来部	子どもサービス課
⑤	ファミリー・サポート・センター事業		育児の援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)が会員登録し、育児について助け合う会員組織の事業で、子育て家庭の支援を行う。	会員数 依頼会員 1,553人 提供会員 112人 両方会員 18人 活動件数 4,308件	子ども未来部	子どもサービス課
⑥	ひとり親家庭等日常生活支援事業		ひとり親家庭等の保護者が、技術習得、疾病、出張、事故、看護等の理由で一時的に生活援助などのサービスが必要な場合に支援員を派遣する。	(生活援助) 利用世帯数 5世帯 延回数 185回 (188時間) (子育て支援) 利用世帯数 0世帯 延回数 0回 (0時間)	子ども未来部	子育て支援課
⑦	子育てアドバイザー活用推進事業		子育てに関する専門的な知識や技能を有し、地域において積極的なボランティア活動を行う、子育てアドバイザーを活用し、子育て家庭を支援するとともに、その自主的な活動を促進する。	活動件数 229件	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑧	児童館における子育て支援事業		児童館や母と子の家において、子育てアドバイザーをはじめとするボランティアの協力を得るなかで、子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えていくための仕組みづくりを進める。	実施箇所数 24か所 ・児童館 23か所 ・母と子の家 1か所 主に、児童館職員や子育てアドバイザーによる幼児とその保護者を対象とした手遊び・読み聞かせ・工作などの活動を行った。	子ども未来部	子ども健やか育成課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑨	子育て世帯訪問支援事業		対象家庭を訪問し、家事支援、育児・養育支援を基本に家庭状況に応じて、子育て等に関する不安や悩みの傾聴、相談・助言、地域の母子保健施策・子育て支援施策等に関する情報提供、支援対象者や児童の状況・養育環境の把握、市への報告を行う。	R6新規	子ども未来部	子ども見守り・相談課
⑩	養育支援訪問事業		児童の養育に関して、保護者を支援することが特に必要と認められる家庭に対し、保健師や家庭児童相談員等が訪問し、子どもの養育に関する指導や助言を行うことにより、家庭における子どもの適切な養育環境を確保する。	派遣回数 ・保健師等 35回 ・ヘルパー 96回 【備考】 R6から「養育支援訪問事業」を「専門相談支援」に特化させ、「育児・家事援助」を「子育て世帯訪問支援事業」において実施している。	子ども未来部	子ども見守り・相談課
⑪	どさんこ・子育て特典制度（道事業）		妊娠中もしくは小学生までの子どもを持つ子育て家庭が、協賛店や協賛施設を利用する際に、認証カードを提示することで、商品の割引やグッズの提供などの特典が受けられる。	協賛店等件数 136件	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑫	お父さんのための子育て講座		子育て中の父親等が、子育ての楽しさやすばらしさを実感できるよう、男女共同参画の視点を取り入れた子育てに関する学習会や遊びの体験会等を実施する。	実施箇所数 1か所 実施回数 2回 参加者数 47名	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑬	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)		生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭を子育てアドバイザーや保健師等が訪問し、子育てに関する情報提供や相談等に対応する。	対象者数 946人 訪問者数 946人	子ども未来部	母子保健課
⑭	はこだてキッズプラザ		託児機能を有し、親子によるふれあいや遊びのほか、子育てに関する情報交換等の場を提供する。	入館者数 108,608人	経済部	商業振興課
⑮	はこだてみらい館		子どもをはじめ、広く市民から観光客までが先端技術を活用した体験や交流が出来る場を提供する。	入館者数 58,900人	経済部	商業振興課
(2) 施設における子育て支援						
①	病児保育事業		保護者が就労している場合などにおいて、子どもが病気の際に、家庭で保育ができない保護者に代わって、医療機関に近接した施設で一時的に預かり、保育する事業。	実績なし 【備考】 R6.10 開設予定	子ども未来部	子どもサービス課
②	保育所等における一時預かり事業		保護者の断続的または短期間の労働や傷病等による緊急時その他の理由により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保育所等で一時的に保育する事業。	施設数 24か所 延利用者数 5,587人	子ども未来部	子どもサービス課
③	幼稚園等における在園児の一時預かり事業		幼稚園等で、教育課程にかかわる教育時間前後や休業日等において、希望する児童を預かる事業。	施設数 60か所 延利用者数 194,591人	子ども未来部 学校教育部	子どもサービス課 学校教育課
④	子育て支援短期利用事業（ショートステイ事業）		保護者が病気、出産、冠婚葬祭等で一時的に子どもの養育が困難となった場合に、7日間以内、保護者に代わって、保育する事業。	施設数 3か所 (くるみ学園,国の子寮,さゆり園) 延利用者数 66人 新型コロナウイルス感染症の影響により延利用者数の減	子ども未来部	子育て支援課
⑤	トワイライトステイ事業		仕事の都合などの事情により、保護者が平日の夜間や休日不在となり、一時的に児童の養育が困難となった場合やその他の緊急の場合に、保護者が帰宅するまでの間、児童養護施設等で児童を預かり、保育や生活指導、食事の提供を行います。	施設数 4か所 (くるみ学園,国の子寮,さゆり園,やしの夢) 延利用者数 178人 【備考】 R4に利用施設増設	子ども未来部	子育て支援課
⑥	乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)		全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充を目指し、こども誰でも通園制度を実施する。	【備考】 R6:試行的事業実施 R7:地域子ども・子育て支援事業として実施 R8以降:給付制度として実施	子ども未来部	子どもサービス課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑦	放課後児童健全育成事業(学童保育事業)の充実		保護者が、労働等により昼間家庭にいない小学校児童を対象に、放課後児童クラブ(学童保育所)において、その保護や健全な育成を行う。 平成27年度から、放課後児童クラブ(学童保育所)の質の改善をめざし、子ども・子育て支援新制度のもと、「函館市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例」を施行している。 本条例に基づき、各クラブに対する適切な指導検査等を行うなかで、設備および運営の適正化、放課後児童支援員等処遇改善や保護者負担の軽減などに努めており、今後も放課後児童健全育成事業の充実を図る。	施設数 ・公設民営 68か所 ・民設民営 2か所 クラス数 ・公設民営 80クラス ・民設民営 2クラス 利用者数 ・公設民営 2,714人 ・民設民営 10人 利用料軽減 ・児童一人あたり 月6,000円	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑧	小規模多機能・放課後児童支援事業		南茅部地区において民間の事業者に運営を委託し、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童の放課後の居場所を整備する。	R6新規	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑨	放課後の子どもの居場所づくりの総合的な検討		放課後児童クラブ(学童保育所)の実施場所の確保のほか、既存施設を活用し、安全・安心に過ごすことができる子どもの居場所の確保を推進する。 また、国の「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後児童クラブ(学童保育所)」と「放課後子ども教室」の連携を図るなど、放課後の子どもの居場所づくりを総合的に検討する。	施設等数 児童館 24館 放課後児童クラブ 80クラス (公設民営) (68施設) 放課後子ども教室 10か所 (うち連携型: 7か所 一体型: 1か所 その他: 2か所)	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑩	放課後子ども教室推進事業		小学校の余裕教室等を放課後の児童の活動場所として提供し、地域住民や保護者、学生などにボランティアとして協力を得るなかで、遊びや交流活動を通じて児童の健全育成を図る。	施設数 10か所 (あさひ、八幡、万年橋、柏野、高丘、旭岡、鍛神、本通、南本通、えさん) 開催回数 169回 放課後子ども教室1回あたりの児童の参加割合平均 24%	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑪	新・放課後子ども総合プラン指導員研修会		放課後児童健全育成事業および放課後子ども教室推進事業の一体的または連携した実施を推進する新・放課後子ども総合プランに携わる放課後児童支援員等およびボランティア等を対象に、児童の健全育成に関する必要な知識習得のための研修会を実施する。	障がい児研修 2回 児童の支援に関する研修 2回 ※Youtube配信・DVD配布による研修実施	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑫	はこだてキッズプラザ	再掲			経済部	商業振興課
⑬	はこだてみらい館	再掲			経済部	商業振興課
⑭	青少年研修センター		青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の促進を図るための宿泊研修施設で、社会性や思いやりの心など、青少年の豊かな人間性をはぐむ各種体験活動事業を実施する。	事業の実施 ・宿泊型 10回/年 ・日帰り型 9回/年 延利用者人数 15,713人 宿泊人数 3,591人	生涯学習部	生涯学習文化課
(3) 子育て相談、情報提供体制の充実						
①	地域子育て支援拠点事業(子育てサロン)	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
②	子育てサロン合同の取組	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
③	子育て支援隊	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
④	幼稚園等における未就園児向け施設開放・相談事業		未就園児と保護者を対象に施設を開放し、未就園児を持つ子育て家庭への支援を行うとともに、その機会に、子育てや幼児教育に関する各種の相談に応じて、必要な情報提供等を行う。	未就園児施設開放 ・私立 26か所 ・公立 2か所 ※認定こども園含む	子ども未来部 学校教育部	子どもサービス課 教育指導課
⑤	ひとり親家庭サポート・ステーション事業		ひとり親家庭が抱える様々な悩み等に対して、相談内容や家庭状況に応じて、必要な訪問支援や関係機関への付添支援などを行う。	相談員 5名 相談件数 2,067件 【参考】 (配偶者暴力相談支援センター 365件)	子ども未来部	子育て支援課
⑥	子ども家庭センター		母子保健機能と児童福祉機能をそれぞれ担ってきた函館市子育て世代包括支援センター(名称: マザーズ・サポート・ステーション)と函館市子ども家庭総合支援拠点を函館市子ども家庭センターとして位置付け、子育てに困難を抱える家庭に対して、切れ目なく、漏れなく対応することを目指していく。	R6.4開設	子ども未来部 子ども未来部	子ども見守り・相談課 母子保健課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑦	子どもなんでも相談110番		専任の相談員を配置し、子育て、障がい、病気、家庭内の問題、保育所・幼稚園・学校での問題、ヤングケアラーや虐待など、子どもに関するあらゆる相談を受け付ける窓口として、「子どもなんでも相談110番」を設置している。	家庭児童相談員 4名 相談件数 971件 ・子ども専用電話(フリーダイヤル)・子ども専用ページ(相談フォーム)の周知カードを、市内小中高等学校の全児童・生徒に配布 ・市内小中高等学校・関係機関に周知ポスターを配布 相談時間 月 8:45~19:00 火~金 8:45~17:30	子ども未来部	子ども見守り・相談課
⑧	子育てネットらんど		子育て支援に関わる市民団体や専門機関など15団体に子ども未来部を加えた16団体により構成される函館市子育て支援ネットワークによる地域の子育て力の向上や子育て支援の機運の醸成を図るためのイベントを開催する。	ネットワーク会議の開催 1回 合同部会の開催 3回 イベントの開催 0回	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑨	子育て支援ネットワーク研修会		子育て支援ネットワーク参加団体の実務者や子育て家庭等を対象に、子育てに役立つ知識や情報等を得るための講演会等を開催する。	研修会の開催 1回	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑩	子育てアドバイザー活用推進事業	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑪	児童館における子育て支援事業	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑫	お父さんのための子育て講座	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑬	乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん事業)	再掲			子ども未来部	母子保健課
⑭	マザーズ・サポート・ステーション事業		子育て世代が抱える妊娠、出産、子育て等に関する相談に専任の相談員がワンストップで対応し、必要に応じて関係機関と連携し、切れ目のない支援を実施する。	窓口相談支援件数 延173件 妊娠届出時相談支援件数 延1,015件	子ども未来部	母子保健課
⑮	子育て支援コンシェルジュ事業		子育て支援サービス等に係る総合案内窓口として、保護者への情報提供のほか相談対応など、利用者支援等を行う。	相談件数 24件	経済部	商業振興課
					子ども未来部	子ども企画課
⑯	地域子育て相談機関		※今後、提示予定		子ども未来部	
2 保育サービスの充実						
(1) 多様な保育ニーズへの対応						
①	幼稚園等における在園児の一時預かり事業	再掲			子ども未来部 学校教育部	子どもサービス課 学校教育課
②	通常保育事業(保育所および認定こども園)		保護者の労働や疾病等の理由により、保育を必要とすることが認められる児童を、保護者に代わって保育を行い、児童の心身の健全な発達を図る。	認可保育所 ・施設数 5か所 ・延利用者数 3,298人 認定こども園(幼保連携型) ・施設数 28か所 ・延利用者数 19,738人 認定こども園(保育所型) ・施設数 19か所 ・延利用者数 13,590人 認定こども園(幼稚園型) ・施設数 6か所 ・延利用者数 1,641人	子ども未来部	子どもサービス課
③	延長保育事業		保護者の就業形態の多様化等に対応するため、通常の開所時間を超えて、保育所等の保育時間を延長する。	施設数 ○標準時間 ・30分延長 26か所 ○短時間 ・2時間延長 2か所 延利用者数 7,247人	子ども未来部	子どもサービス課
④	保育所等における障がい児保育		保護者の労働等の理由により、保育所、認定こども園において保育を必要とすることが認められる心身に障がいのある乳幼児を保育する。	施設数 4か所 実利用者数 11人 ※学校法人立の施設 実績なし	子ども未来部	子どもサービス課
⑤	地域型保育事業		認可保育所の補完的役割を担う、3歳未満の子どもを対象とした19人以下の小規模保育事業を実施する。	未実施 通常保育事業で確保	子ども未来部	子どもサービス課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑥	低年齢児保育対策事業（認可外保育施設）		認可保育所の補完的役割を担う認可外保育施設において、委託により低年齢児保育を実施する。	施設数 1か所 延利用者人数 91人	子ども未来部	子どもサービス課
⑦	保育所地域活動事業		地域において多様化する子育て支援に関するニーズに対応するため、地域に開かれた社会資源として、保育所が有する専門的な機能を活用し、地域住民との交流事業を実施する。	施設数 1か所(1科目) ・地域交流事業 1か所 ・育児講座 0か所 ・保育需要対応 0か所	子ども未来部	子どもサービス課
⑧	認定こども園への円滑な移行促進		幼稚園機能と保育所機能を併せ持つ認定こども園の設置により、地域の実情に応じた多様化するニーズへの対応が図られることから、既存の幼稚園や保育所からの円滑な移行促進を図る。	意向調査の実施、移行に関する必要な情報の提供、各施設からの相談に対する丁寧な対応により円滑な移行促進を図った。 令和5年度から移行 ・幼稚園 1施設 ・保育所 0施設	子ども未来部	子どもサービス課
⑨	病児保育事業	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
⑩	保育所等における一時預かり事業	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
⑪	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
(2) 保育サービスの質の向上						
①	保育サービスの情報提供		保育サービスの実施状況等に関する情報を市の情報冊子などで提供するとともに、利用者の選択肢を広げるため、ホームページなどを利用した積極的な情報提供を推進する。	・「保育所等入所申込み案内・保育所等利用のしおり」、ホームページ、各保育所などにおいて保育サービスに関する情報提供を行った。 ・函館市公式LINEによるスマートフォンの位置情報を活用した保育園検索を開始した。	子ども未来部 子ども未来部	子どもサービス課 子ども企画課
②	保育の質の向上		各種研修会への参加、保育所内研修の積極的な実施を促進するとともに、研修機会の拡充、各保育所に対する指導監督体制の充実を図る等、保育の質の向上に努める。	・各園での職場内研修の実施 ・各種職場外研修会、講演会等への参加	子ども未来部	子どもサービス課
③	保育サービスにおける第三者評価事業の普及促進		保育サービスの提供内容などを、公正・中立な第三者機関が評価を行い、その結果が公表されることとなる第三者評価事業の普及促進を図る。	各園に対し、第三者評価事業の重要性を説明し、当該事業の導入を促すことで、普及促進を図った。	子ども未来部	子どもサービス課
④	保育体制強化事業		清掃業務や遊具の消毒、給食の配膳、寝具の用意等、保育に係る周辺業務や園外活動時の見守り等を行う者（保育支援者）の配置の支援を行い、保育士の業務負担の軽減を図ることによって、保育士が働きやすい職場環境を整備する。	施設数 35か所	子ども未来部	子どもサービス課
⑤	特定教育・保育施設質向上事業		各施設がより特色のある教育・保育を実践する等、多様な教育・保育サービスを提供するために、国の定める必要な職員数を超えた保育士、幼稚園教諭および保育教諭等の配置に対し支援を行う。	施設数 46か所	子ども未来部	子どもサービス課
⑥	保育士の処遇改善と人材確保		各施設における保育士を確保するため賃金等の改善を図るとともに、保育所等で勤務していない保育士有資格者に対する情報提供や講義、施設見学などの事業を実施するほか、保育士の仕事の魅力を伝え、イメージの向上を図るためのPR活動を行う。	・研修および就職相談 1回 ・技能・経験に応じたキャリアアップによる処遇改善*の実施施設数 62か所 ※技能・経験に応じた月額賃金5,000円～40,000円の上乗せ ・学生と保育士のオンラインパネルディスカッション 2回	子ども未来部	子どもサービス課
3 子育て支援のネットワークづくり						
(1) 子育て支援ネットワークづくりの促進						
①	地域子育て支援拠点事業(子育てサロン)	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
②	子育てサロン合同の取組	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
③	児童館における子育て支援事業	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
④	お父さんのための子育て講座	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑤	子育て支援ネットワーク事業		子育て支援に関わる市民団体や専門機関など15団体に子ども未来部を加えた16団体により「函館市子育て支援ネットワーク」を構成しており、市民と協働して子育て支援を推進するため、地域の子育て力の向上や子育て支援の機運を高めるための研修会等を実施する。	ネットワーク会議の開催 1回 合同部会の開催 3回 イベントの開催 0回	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑥	はこだてキッズプラザ	再掲			経済部	商業振興課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
(2) 子育て支援情報の提供の充実						
①	子育てアプリ「すくすく函館っ子」(はこっこ)		妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のないサポートや子育て支援に係る情報提供等のさらなる充実を図るため、母子健康手帳機能等を備えた函館市子育てアプリ「すくすく函館っ子」(はこっこ)として様々な子育てに関する情報を配信する。	登録ユーザー数 (R6.3末現在) 1,813件	子ども未来部	子ども企画課
②	子ども・子育て情報「はこすく」		結婚・妊娠・出産・育児など子育てに関する情報(子ども・子育てに関する制度や、相談窓口の案内、各種手当等の申請方法のお知らせなど)をまとめたリンク集を市のホームページから発信する。	函館市の子育てに関する情報を集約し、市のホームページに掲載	子ども未来部	子ども企画課
③	函館市公式LINEによる子育て情報の配信		子育てに関する情報や、スマートフォンの位置情報を活用した周辺保育園の検索機能などを有する子育てメニューを函館市公式LINEに設け、子育て情報を配信する。	函館市公式LINEにより配信	子ども未来部	子ども企画課
④	子育てサポート情報通信「すくすく」の発信		子どもの発達段階に応じた子育てワンポイント情報やその時々話題となっている事柄をコンパクトにまとめ、年に2回ホームページに掲載するとともに、フリーペーパーなどにも適宜掲載するなど、より手軽に子育て情報を入手できるよう情報の発信方法を工夫する。	ホームページ更新 年2回	子ども未来部	母子保健課
(3) 地域における子育て意識の啓発推進						
①	主任児童委員、児童委員の活動の促進		児童の健全育成や虐待防止の取組みなど、子どもと子育て家庭への支援を住民と一体となって進めるため、主任児童委員、児童委員の活動を促進する。	児童委員 683人(710人) うち主任児童委員 56人(60人) ※()定数	保健福祉部	地域福祉課
②	子育てアプリ「すくすく函館っ子」(はこっこ)	再掲			子ども未来部	子ども企画課
③	子ども・子育て情報「はこすく」	再掲			子ども未来部	子ども企画課
④	地域子育て支援拠点事業(子育てサロン)	再掲			子ども未来部	子どもサービス課
⑤	児童館における子育て支援事業	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑥	子育て支援ネットワーク事業	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑦	子育てサポート情報通信「すくすく」の発信	再掲			子ども未来部	母子保健課
⑧	コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)		協議会の委員として委嘱・任命された地域住民や保護者、教職員が一定の権限と責任を持って、知恵を出し合い、協働して学校の運営に参画し、子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校」の実現に取り組む。	設置数(コミュニティ・スクール) 58校 1園 委員数 392人	学校教育部	学校再編・地域連携課
4 子どもの健全育成						
(1) 子どもの居場所づくりの整備推進						
①	中学生学習支援等事業		生活困窮世帯の中学生を対象に高校受験のための進学支援や学校の勉強の復習、学び直しのための学習支援等を実施するほか、子どもが安心して通える居場所の提供等を行う。	定員 50人 参加生徒数 53人	保健福祉部	地域包括ケア推進課(福祉拠点担当)
②	函館市子ども条例の推進	再掲			子ども未来部	子ども企画課
③	子ども会議		子どもたちが社会参加することを目的として、子どもに関する施策やまちづくりに関すること等について、子どもたち自身が話し合い、意見発表をする機会を設ける。	参加者 市立函館高等学校 1年生16名 開催日 11月23日	子ども未来部	子ども企画課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
④	児童館等の充実		<p>児童に集団的・個別的な遊びの指導や生活の援助を行い、スポーツ教室や文化事業などの各種事業を実施する中で、異年齢や異世代の交流を推進し、児童に体験の場を提供する。また、子育てアドバイザー等、地域のボランティアとともに、未就学児童とその保護者を対象とした子育て支援事業を実施する。さらに、地域住民との連携による地域の児童の見守り等を行い、児童に関する様々な問題の未然防止と早期発見に努める。</p> <p>なお、平成27年度から、一部の児童館に指定管理者制度を試験的に導入し、平成30年度の検証の結果、令和2年度から本格的に導入しており、今後においても指定管理者の管理・運営を検討していく。</p>	施設数 ・児童館 23か所 ・母と子の家 1か所 延利用者人数（貸館除く） 179,543人	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑤	児童館等の配置の検討		<p>子どもを取り巻く環境が大きく変化し、少子化の進行に伴い利用者の減少が見込まれるが、一方で、これからの児童館等には、福祉的課題への対応など多様な役割を担うことが期待されている。また、多くの施設の老朽化が進んでいることや、社会情勢や都市構造の変化のほか、小学校の再編の動きを踏まえた児童館等の配置を検討する必要があることから、これらへの対応にあたっての基本的な考え方を検討する。</p>		子ども未来部	子ども健やか育成課
⑥	根崎生活館		<p>児童・生徒育成事業として、習字教室、まなび方教室などを実施しているほか、小・中学校の夏休みや冬休み期間には、スポーツ教室などの特別教室も実施する。</p>	各種教室開催内訳 ・習字教室 48回 ・まなびかた教室 18回 ・その他特別活動 9回 （スポーツ教室、調理教室等）	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑦	放課後の子どもの居場所づくりの総合的な検討	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑧	放課後児童健全育成事業(学童保育事業)の充実	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑨	小規模多機能・放課後児童支援事業	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑩	放課後子ども教室推進事業	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑪	新・放課後子ども総合プラン指導員研修会	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
⑫	子どもの居場所づくり推進事業		<p>学習習慣の定着および健全育成を図り、安全で安心して過ごすことができる多様な子どもの居場所づくりを促進するため、身近な地域において、子どもの自主性を生かした学習支援等を行う。</p>	R6新規	子ども未来部	子ども企画課
⑬	函館コミュニティプラザ(Gスクエア)		<p>多目的ホールやフリースペースなどを備え、市民、特に若者が気軽に来場し、広く交流できる場所を提供する。</p>	入館者数 152,805人	経済部	商業振興課
⑭	公園の長寿命化対策		<p>都市公園の遊具等施設については、老朽化に対する安全性の確保、また、公園施設のライフサイクルコスト削減の観点から、遊具等施設の改築・更新に努める。</p>	都市公園の箇所数 379か所 （公園353か所、緑地26か所） 改築・更新実施箇所数 7か所	土木部	公園河川整備課
⑮	青少年研修センター	再掲			生涯学習部	生涯学習文化課
⑯	公民館		<p>小学生対象の公民館講座として、絵画教室や樹脂粘土教室などを実施する。</p>	公民館講座（小学生対象） ・実施回数 12回 ・受講者 63人	生涯学習部	生涯学習文化課
⑰	ウィークエンド・サークル活動推進事業		<p>休日に、障がいのある児童・生徒に対して、学生ボランティアと一緒に活動できる体験の場と機会を提供する。</p>	実施回数 4回 延参加者数 71人	生涯学習部	生涯学習文化課
⑱	学校開放事業（文化開放）		<p>市立学校の施設を学校教育に支障のない範囲で文化活動、社会教育活動を行うグループ・サークルの学習や活動の場所として、特別教室等を開放する。</p>	施設数 ・小学校開放 7校 ・中学校開放 4校 語学、合唱、器楽、ダンス等の団体へ開放 利用回数 983回 利用団体数 36団体	生涯学習部	生涯学習文化課
⑲	絵本の読み聞かせ		<p>子どもの時期から本に親しみ、本と接する機会の提供等を目的に、ボランティアによる紙芝居や絵本を使った読み聞かせの実演をする。</p>	実施回数 341回 参加者数 3,419人	生涯学習部	生涯学習文化課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑳	函館アリーナ		子どもを対象とした各種の学習型事業やスポーツ教室のほか、プロスポーツ選手によるクリニックなどを実施する。 また、館内2階に開設している児童コーナーは、美原児童館の機能を継承しており、児童（18歳未満）の活動の場の無料開放事業や、児童を対象とした無料体験講座および季節行事等を実施するほか、児童図書コーナーを配置している。	子どもを対象とした教室 ・親子体育教室 39組 ・わんぱく教室 52人 ・ジュニア室内サッカー 36人 ・ミニバスケット教室 46人 ・ヒップホップダンス 22人 ・日本ハンドボールリーグ講習会 30人 ・トップアスリートによる競技力向上スポーツ教室 232人	生涯学習部	スポーツ振興課
㉑	亀田交流プラザ		講堂や体育室、会議室などを配置し、各種講演会や展示会、発表会、会議、研修、サークル活動やスポーツ活動など、多目的に利用でき、また、高齢者対象大学の実施や、高齢者や児童への活動の場の提供など、多彩な事業を展開することで、幅広い世代の市民に生涯にわたる学習活動の場および多様な交流の場を提供し、豊かな市民生活と活力ある地域社会の創造に寄与する。 また、館内2階に開設している児童コーナーは、美原児童館の機能を継承しており、児童（18歳未満）の活動の場の無料開放事業や、児童を対象とした無料体験講座および季節行事等を実施するほか、児童図書コーナーを配置している。	児童コーナー利用者 15,514人 多様な無料開放事業や季節行事等を実施	生涯学習部	生涯学習文化課
㉒	児童育成支援拠点事業		※今後、提示予定		子ども未来部	子ども見守り・相談課 子ども健やか育成課
(2) 少年非行、いじめ・不登校等に対する支援の推進						
①	函館市子ども条例の推進	再掲			子ども未来部	子ども企画課
②	子どもなんでも相談110番	再掲			子ども未来部	子ども健やか育成課
③	青少年補導センター		函館市補導センターの育成補導員および少年補導委員（市内小・中・高等学校等の教員に委嘱）により、大型店舗やカラオケボックス、ゲームセンター等で街頭補導活動を実施する。	補導件数 21件 注意・指導件数 521件 活動回数 495回 ・昼間補導 225回 ・夜間補導 225回 ・特別補導 45回	子ども未来部	子ども健やか育成課
④	有害図書等販売状況一斉立入調査		青少年を取り巻く環境の浄化活動として、有害図書等の取扱い、陳列方法や、青少年の携帯電話・スマートフォンへのフィルタリング機能の義務化等について、書店やDVD・ビデオレンタル店、コンビニエンスストア等への立入調査を一斉に行い、店主等への説明や指導、協力要請を行う。 北海道青少年健全育成条例に基づき実施（道職員併任）	調査件数 20件	子ども未来部	子ども健やか育成課
⑤	いじめ不登校等対策推進事業		児童・生徒のいじめの問題や不登校等について、その対応に係わる協議等を行い、啓発用リーフレットの作成・配布や「はこだて子どもホットライン（子どもの悩み相談電話）」（南北海道教育センター）の開設などに取り組む。	リーフレット配布数 20,000部 子どもの悩み相談電話 2か所 （南北海道教育センター、こころの相談員（教育センター内））	学校教育部	教育指導課 南北海道教育センター
⑥	こころの相談員配置事業		子どもの悩み相談電話の対応および学校等の要請等に応じて学校を巡回し、児童・生徒および保護者等へのカウンセリングや学校および教育委員会への助言を行う相談員を配置し、教育委員会や学校等と連携し、いじめや不登校等の未然防止および早期解決に努める。	相談件数 273件	学校教育部	学校教育課 教育指導課
⑦	サポートベース函館		函館市内に在住する、様々な背景や要因、状態により登校できない状況にある児童生徒を対象に、「サポートベース函館」（南北海道教育センター）においてひとりひとりの状況に即した支援を行い、社会的自立または学校生活への意欲を高める。	施設数 1か所 通級数 小学生 8人 中学生 32人 【備考】 令和5年度から適応指導教室「やすらぎ学級」と相談指導学級「ふれあい学級」を一本化し、サポートベース函館を開設した。	学校教育部	南北海道教育センター

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
施策の方向2 母子の健康確保と増進						
1 妊産婦・乳幼児に関する切れ目のない保健対策の充実						
(1) 健康診査、保健相談・指導の充実						
①	妊産婦歯科健康診査		妊娠中から産後は、つわりや授乳による食習慣や歯みがき習慣の変化等により、歯肉炎等の歯科疾患を発症しやすくなるため、妊娠中から口腔の状態をチェックすることにより、異常の早期発見、早期治療や、生まれてくる子どもの歯科保健意識の向上につなげる。	妊産婦歯科健康診査受診者数 80人	保健福祉部	健康増進課
②	妊婦健康診査		母子健康手帳交付時、初回から妊娠39週前後までの妊婦健康診査について、望ましい回数とされる14回分の受診票と超音波検査用受診票を交付し、健診費用の一部を助成。さらに、多胎妊娠の方が標準的な妊婦健診以外に自費で受診した健診の費用の一部についても助成することにより妊婦の経済的負担を軽減しており、今後も妊婦の健康管理を図るため、健診受診率の向上に努める。	妊婦一般健康診査受診率 87.1%	子ども未来部	母子保健課
③	出産・子育て応援給付金給付事業		全ての妊婦・子育て家庭が、より安心して出産・子育てができるよう、本市の既存の取り組みを生かしながら、妊娠期から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」の充実を図るとともに、「経済的支援」として妊娠届出時、出生届出時を通じた給付金の支給を一体的に実施する。	給付件数 出産応援給付金 1,130人 子育て応援給付金 1,031人	子ども未来部	母子保健課
④	妊産婦健診交通費等助成事業		妊産婦健康診査や出産時に受診することができる医療機関が遠方にある妊産婦の心身や経済的負担の軽減を図るため、交通費や宿泊費の一部を助成	助成件数 延27人	子ども未来部	母子保健課
⑤	妊産婦保健指導		妊娠11週以内の早期の妊娠届出率の向上を図るほか、妊産婦訪問や電話相談への対応など、保健指導を充実・強化するとともに、母子支援連絡システム事業を活用した医療機関との連携により、ハイリスク妊産婦への支援を強化する。	11週以内届出率 94.4% ハイリスク妊婦への指導 随時 母子支援地域連絡会の開催 11回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止 母子支援連絡票による支援率 100.0%	子ども未来部	母子保健課
⑥	新生児聴覚検査		聴覚障がい早期発見・早期療育を図るため、新生児聴覚検査費用の一部を助成	助成件数 延823人	子ども未来部	母子保健課
⑦	乳幼児健康診査		子どもの疾病や障がいを早期に発見し、早期治療や早期療育につなげるとともに、育児に関する様々な相談に応じ、子どもの健全育成が図られるよう、4か月、10か月、1歳6か月、3歳児の健康診査を継続し、受診率の向上を図る。	受診率 ・4か月児健康診査 98.8% 対象者 984人 受診者972人 ・10か月児健康診査 98.0% 対象者1,039人 受診者1,018人 ・1歳6か月児健康診査 97.7% 対象者1,096人 受診者1,071人 ・3歳児健康診査 98.7% 対象者1,188人 受診者1,173人	子ども未来部	母子保健課
⑧	乳幼児健康診査二次スクリーニング		乳幼児健診において、発育・発達の遅れが疑われる子どもを対象とした経過観察健診（訓練含む）と、肥満予防対策が必要と認められた子どもを対象とした小児肥満フォロー健診を実施する。	実施回数 ・経過観察健診（訓練含む） 12回 対象者数 103人 受診者数 実82人 延98人 ・のびっこ健診 12回 対象者数 50人 受診者数 実30人 延47人	子ども未来部	母子保健課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑨	乳幼児精密健康診査		乳幼児健診において、より精密な検査が必要と認められた子どもを対象に、医療機関で精密健診を実施し、その結果に応じて保健師による適切な支援を行う。	受診票交付人数 実99人 延100人 受診人数 実92人 延93人	子ども未来部	母子保健課
⑩	乳幼児保健指導		保護者の様々な育児不安等に適切に対応し、その解消に努めることで子どもの健全育成や児童虐待予防が図られるよう、乳幼児健診での保健指導、未熟児や多胎児、障がいのある子ども等への訪問等による相談支援のほか、乳幼児健診未受診者への受診勧奨や状況確認、医療機関からの母子支援連絡票による養育支援が必要な母子の早期把握および適切な支援を行う。	母子支援連絡票 442件 未熟児訪問 実 59人 延 60人 多胎児訪問 実 10人 延 10人 障害児訪問 実 16人 延 22人 } ※ ※重複あり 発達相談 実315人 延367人 ことばの相談 随時専門療育機関へつなぐ	子ども未来部	母子保健課
⑪	定期予防接種		感染症を予防するために、主に乳幼児に接種する、BCG、四種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ）、麻しん、風しん、水痘、ヒブ、小児用肺炎球菌等の各ワクチンをはじめ、主に小学6年生を対象に接種する二種混合ワクチン（ジフテリア、破傷風）第2期や、主に中学1年女子を対象に接種する子宮頸がん予防ワクチンを実施してきた。また、平成28年4月から日本脳炎ワクチンが北海道においても定期予防接種となったほか、同年10月からはB型肝炎ワクチン、令和2年10月からはロタウイルスが定期予防接種となった。令和6年4月から四種混合とヒブを合わせた五種混合ワクチンが導入されるなど、接種スケジュールが複雑で過密になっている。接種の誤りを防ぎ、適切な時期に接種することができるよう、個別通知や広報等により、積極的な勧奨に努め、接種率の向上を図る。	実施率 BCG 100.0% ポリオ（不活化） 0% 四（三）種混合 104.8% 二種混合第2期 82.9% 麻しん風しん混合 92.8% 第1期 92.4% 第2期 93.1% 水痘 92.6% ヒブ 98.0% 小児用肺炎球菌 98.1% 子宮頸がん予防 47.4% 日本脳炎 69.7% B型肝炎 101.7% ロタ 90.9% ・日本脳炎、子宮頸がん予防、ロタについては、接種率の算出が困難であるため、実施見込件数に対する実施件数の割合としている。 ・令和4年4月1日から子宮頸がんワクチンの積極的な勧奨再開、キャッチアップ接種開始	子ども未来部	母子保健課
⑫	乳幼児歯科健診・相談		10か月児健診時に歯科相談、1歳6か月児健診、3歳児健診時に歯科健診と歯科相談を実施しているほか、1歳から就学前の幼児を対象にフッ素塗布を行っており、歯科保健についての正しい知識の普及・啓発により受診率等の向上に努めるとともに、むし歯有病者率の減少を図る。	むし歯有病者率 1歳6か月児健診時 1.5% 3歳児健診時 12.5% 3歳までにフッ素塗布を3回以上実施 26.7%	子ども未来部	母子保健課
⑬	周産期母子医療センター（道事業）との連携		分娩に伴う妊産婦や乳児の死亡を減少させるため、状況に応じて市内の全産婦人科が周産期母子医療センター（総合周産期母子医療センター：函館中央病院）への搬送を行っており（道事業）、また、退院後の母子支援のため、同センターとの定期連絡会等を実施するなど、今後も同センターとの連携を強化する。	・母子支援地域連絡会（年11回）を通じて連携を図る。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止 ・市内全産婦人科からNICUへ搬送 随時 ・母子支援連絡票受案件数 442件 ・連絡票支援率 100.0%	子ども未来部	母子保健課
⑭	産後ケア事業		出産後、家族等から十分な家事・育児などの援助が受けられず、心身の不調や育児不安等がある産婦とその子どもを対象に、従来の宿泊型のほか、令和4年度から通所型、訪問型により、助産師等が母体と乳児のケアを行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。また、ハイリスク産婦およびハイリスク乳児等を持つ母親を対象に、保健師が家庭訪問し、産後うつ等の心の健康状態を早期に把握し、適切な支援を行い、母親の育児不安の解消を図る。	宿泊型産後ケア 27件 （課税世帯27件、生保・非課税世帯0件） 通所型産後ケア 67件 （課税世帯67件、生保・非課税世帯0件） 訪問型産後ケア 29件 （課税世帯28件、生保・非課税世帯1件） 実施医療機関 8か所 ハイリスク産婦等訪問者数 実328人 延339人	子ども未来部	母子保健課
⑮	産婦健康診査		産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後の初期段階における母子に対する支援の強化として、産後2週間前後と産後1か月前後の産婦に対し健診費用の助成を行う。健診の結果、支援が必要と判断された産婦に対し、宿泊型産後ケア事業や訪問指導等の支援を行う。	健診受診率 ・産後2週間前後 53.5% 新型コロナウイルス感染症の影響により受診率が低下 ・産後1か月前後 94.6%	子ども未来部	母子保健課
⑯	乳児家庭全戸訪問事業（ごんには赤ちゃん事業）	再掲			子ども未来部	母子保健課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑰	マザーズ・サポート・ステーション事業	再掲			子ども未来部	母子保健課
(2) 母子保健の情報提供の充実						
①	妊産婦および乳幼児の喫煙・受動喫煙防止普及・啓発事業		母子健康手帳交付時や乳幼児健診等の機会を通じて、妊娠中および出産後の喫煙や、乳幼児の受動喫煙の害について普及・啓発を図る。	・母子健康手帳交付時、乳幼児健診等での普及・啓発 ・両親学級にてチラシ配布を実施	保健福祉部	健康増進課
②	子育てアプリ「すくすく函館っ子」(はこっこ)	再掲			子ども未来部	子ども企画課
③	子ども・子育て情報「はこすく」	再掲			子ども未来部	子ども企画課
④	事故防止周知啓発事業		乳幼児健診、両親学級、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会を通じて、誤飲、転落、転倒、やけど等の子どもの事故予防に向けた周知・啓発を行う。	・0～9歳児の不慮の事故による死亡率 ※人口動態調査にて公表 ・両親学級、乳幼児健診等における事故予防の啓発の実施	子ども未来部	母子保健課
⑤	両親学級「プレママ・プレパパ教室」		初妊婦とその夫・家族に対して、妊娠中の健康管理や出産・育児に関する知識の普及・啓発のため、体験学習および講義を行う。	開催回数 11回 受講人数 298人 ・参加者のアンケートから、講話よりも体験をメインとした内容を望む声が多く、心理士による講話から、妊婦シミュレーター体験、沐浴実習を中心とした内容に変更	子ども未来部	母子保健課
⑥	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)	再掲			子ども未来部	母子保健課
⑦	子育てサポート情報通信「すくすく」の発信	再掲			子ども未来部	母子保健課
⑧	えほんふれあい事業		絵本の読み聞かせを通じて、保護者と子どものふれあいを深め、安定した関係をつくることを目的として、10か月児健診時に読み聞かせグループによる読み聞かせを実演し、推薦絵本と読み聞かせ案内についての情報を提供する。	実施回数 50回 参加者数 1,022人	生涯学習部	生涯学習文化課
2 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実						
(1) 思春期・青年期保健に関する知識の普及促進						
①	特定感染症検査等事業		エイズやHIV感染の早期発見とまん延防止のため、HIV抗体検査を今後も継続実施するとともに、より受けやすい検査・相談体制の整備を図る。	HIV抗体検査およびエイズに関する相談 検査数 45件 相談件数 13件 パネル展 1回	保健福祉部	保健予防課
②	エイズ対策促進事業		青少年層や教育機関関係者を対象とした研修会・健康教育等を開催し、エイズ等の性感染症に係る正しい知識の普及・啓発および予防教育を行う。	エイズ研修会 2回 若年者を対象とした健康教育 2回 パネル展 1回	保健福祉部	保健予防課
③	思春期保健講演会		思春期の子どもを持つ保護者をはじめ、関係機関職員や思春期保健に関心のある一般市民等を対象に、思春期の特徴や性行動を含めた問題行動の現状や対応方法についての適切な知識の普及を図るため講演会を開催する。	開催回数 1回 参加者数 130人	子ども未来部	母子保健課
④	思春期教室		思春期の子どもたちが、生命の尊さを認識し、人間尊重、男女平等の精神に基づいた異性観を持ち、適切な行動をとることができるよう、出前健康教育を実施するほか、思春期教材の貸出しや情報提供などを行う。 「函館・性と薬物を考える会」の協力のもと、教育委員会や学校等との連携を一層強化し、思春期教室の拡充に努める。	出前健康教育 16校32回 思春期教材の貸出し 5施設5回	子ども未来部	母子保健課
⑤	思春期保健相談		思春期における身体的、精神的問題や性に関する不安や悩み等について、個々のケースに応じた相談を行う。	相談人数 来所 延 0人 電話 延 56人 訪問 延 0人	子ども未来部	母子保健課
⑥	思春期保健連絡会		思春期の子どもと心と身体の健康づくりを支援する思春期保健対策の進め方について検討し、思春期保健事業の効果的な推進を図るため、関係機関・団体と情報交換や意見交換を実施する。	連絡会の開催 2回	子ども未来部	母子保健課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
⑦	プレコンセプションケアの取組推進		男女ともに性や妊娠に関する正しい知識を身に付け、将来の妊娠のための、栄養管理を含めた健康管理を行うよう促すプレコンセプションケアの取り組みを推進している。	・市内中学生を対象とした思春期教室の講義内容に、プレコンセプションケアも含まれている。 (出前健康教育(思春期教室) 16校32回 ※再掲) ・プレコンセプションケアについての啓発チラシを作成し、令和6年1月の「函館市20歳の集い」、「函館市23歳の集い」会場で配布した。	子ども未来部	母子保健課
				生活習慣病予防に関する普及啓発 18回(529人) ※主に64歳以下を対象としたもの 【備考】 生活習慣病予防は栄養管理を含めた健康管理であることから、プレコンセプションケアの意味も含まれているため掲載		
⑧	スクールソーシャルワーカー配置事業		不登校、暴力行為、児童虐待等様々な問題に対して、学校と連携を図りながら、課題・状況を把握するとともにその解決を図る。また、個別のケースに応じて関係機関との連携により、児童生徒の問題解決を図る。	スクールソーシャルワーカー配置数 2名 学校訪問等 512件	学校教育部	北海道教育センター
(2) 喫煙、飲酒、薬物に関する教育の推進						
①	未成年者飲酒防止対策事業		小学校を対象に、未成年者飲酒防止講座を実施し、未成年者の飲酒が及ぼす健康影響について普及・啓発を図る。	未成年者飲酒防止講座 11校	保健福祉部	健康増進課
②	未成年者喫煙防止対策事業		小学生を中心に、小・中学生および高校生を対象とした未成年者喫煙防止講座を実施し、未成年者の喫煙が及ぼす健康影響について普及・啓発を図る。	未成年者喫煙防止講座 12校	保健福祉部	健康増進課
③	薬物乱用防止普及事業(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動)		北海道と連携し、薬物乱用防止指導員による青少年を対象とした「ヤング街頭キャンペーン」での街頭啓発をはじめ、中学校・高校等での啓発活動を行い、若年層の薬物乱用防止の普及・啓発を図る。	ヤング街頭キャンペーンによる啓発 中学校・高校等での啓発活動 13回	保健福祉部	地域保健課
④	妊産婦および乳幼児の喫煙・受動喫煙防止普及・啓発事業	再掲			保健福祉部	健康増進課
(3) 心のケアと相談体制の充実						
①	自殺対策事業		自殺の現状や自殺対策に関する情報の交換および共有を図り総合的に自殺対策を推進するため、保健・医療・福祉関係機関、教育関係機関、警察関係機関等で構成される函館市自殺対策連絡会議、実務者会議を定期的に開催するほか、自殺予防に関する正しい知識の普及・啓発および人材養成等を行う。	函館市自殺対策連絡会議 1回 函館市自殺対策実務者会議 3回 自殺予防講演会 中止(0件影響) ゲートキーパー研修 5回 夜間電話相談「函館いのちのホットライン」 153日 自殺予防対策若年層向け相談・居場所づくり 事業フリースペース「ヨリドコロ」93回 延 147名 【備考】 夜間電話相談「函館いのちのホットライン」 ・令和3年度から開催日増加(月・金→月・水・金)	保健福祉部	障がい保健福祉課
②	子どもなんでも相談110番	再掲			子ども未来部	子ども見守り・相談課
③	いじめ不登校等対策推進事業	再掲			学校教育部	教育指導課
④	こころの相談員配置事業	再掲			学校教育部	教育指導課
⑤	サポートベース函館	再掲			学校教育部	北海道教育センター
⑥	スクールソーシャルワーカー配置事業	再掲			学校教育部	北海道教育センター
⑦	北海道教育センターにおける教育相談		幼児、児童・生徒の教育上の諸問題の解決を図るため、本人、保護者、学校教育関係者の申し出により、適応、進路および適性に関する相談を実施する。	相談件数 1,043件 ・教育相談 865件 ・就学相談 178件	学校教育部	北海道教育センター
3 「食育」の推進						
(1) 食に関する学習機会、情報提供の充実						
①	離乳食教室		生後4～5か月の第一子を持つ親を対象とし、離乳食初期食(5～6か月)のデモンストレーションおよび試食の提供をし、離乳食の進め方についての講話を実施する。	開催回数 6回 参加者数 80人	保健福祉部	健康増進課

項番	事業名	再掲	事業内容	令和5年度実績	所管部	担当課
②	第3次函館市食育推進計画		市民一人ひとりが食育に理解を深め、食を通して心豊かで健やかな暮らしを実現することを目的に策定した「第3次函館市食育推進計画」に基づき、関係機関・団体との連携を図りながら、食育を推進する。	第3次函館市食育推進計画概要版の配布		
③	食育だよりの発行		乳幼児を持つ保護者を対象に、食事が心身の発達に与える影響など、食事の重要性について周知・啓発を図るため、食育だよりを毎月作成し、保育所等に配布する。	「食育だよりの発行」 12回	子ども未来部	子どもサービス課
④	学校における食育の推進		幼児、児童・生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための食育の取組みについて、各学校教育員に対する指導・助言を行うとともに、栄養教育研究会と連携し、食育の取組みについての普及・啓発を行う。	食の指導に係る学校教育指導 全校 【備考】 栄養教諭向け研修会は隔年実施（令和6年度実施）	学校教育部	教育指導課
4 周産期・小児医療等の充実						
(1) 周産期・小児医療の確保・充実						
①	小児救急電話相談事業（道事業）の普及・啓発		夜間における子どもの急な病気やけがなどの際に、専任の看護師や医師が保護者等からの電話相談に対し、助言を行う「小児救急電話相談事業」の普及・啓発を図る。	・事業内容を掲載した小児救急ガイドブック、子ども救急カードの配布 ・子ども医療受給者証しおり、市公式ページ、市政はこだてに掲載	保健福祉部	地域保健課
②	小児救急に関する情報提供		子どもによくある症状に対する応急処置のポイントや、時間外でもすぐに病院・診療所を受診した方が良い時のポイントなどの情報を冊子にまとめ、乳児家庭訪問などで配布するほか、市のホームページに掲載するなど、情報提供を実施する。	・夜間診療などを行っている医療機関の一覧表を更新し市公式ページで公表 ・市作成の小児救急ガイドブック、はこだて・子ども救急カードの配布	保健福祉部	地域保健課
③	小児救急医療体制の維持・支援		休日および夜間に小児重症救急患者を受け入れる医療機関に対して補助金を交付し、小児科医師の院内待機体制の整備を支援することにより、初期から三次へ至る小児救急医療体制を維持・支援していく。	小児救急医療支援事業費補助金の交付 ・市立函館病院 7,460千円 ・函館中央病院 5,892千円 ・共愛会病院 2,845千円 ・函館五稜郭病院 3,253千円	保健福祉部	地域保健課
④	未熟児養育医療の給付		養育のために病院等に入院することを必要とする未熟児に対して、その養育に必要な医療費を給付する。	給付人数 53人	子ども未来部	母子保健課
(2) 小児慢性特定疾病対策の推進						
①	小児慢性特定疾病医療の給付		18歳未満で発症した小児慢性特定疾病患者の医療に要する費用を患者家族の負担能力に応じて助成する。	給付人数 163人	子ども未来部	母子保健課
②	日常生活用具の給付		小児慢性特定疾病の対象となっている子どもに対し、特殊寝台等の日常生活用具を給付する。	給付件数 2件 (電気式たん吸引器 2件)	子ども未来部	母子保健課
③	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業		慢性的な疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成および自立促進を図るため、児童等およびその家族からの相談に応じ、必要な情報提供や助言を行うとともに、医療や教育、保健、患者・家族会等関係者による関係機関会議を開催し、地域の支援体制の確立を図る。	小児慢性特定疾病対策地域協議会 1回 相談支援事業の実施 ・相談支援 実31人 延74人 ・自立支援計画作成 実12人 延12人 ・療育支援講演会 2回	子ども未来部	母子保健課
(3) 不妊・不育症に悩む方に対する支援の充実						
①	不妊治療等助成事業		子どもを望む患者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、医療保険適用の不妊治療と併用して実施した先進医療に係る費用や交通費の一部を助成する。	R6年1月開始 助成件数 延6件	子ども未来部	母子保健課
②	不育症治療費助成事業		2回以上の流産、死産あるいは早期新生児死亡等の既往があり、国内の産科または婦人科を標ぼうする医療機関で不育症の因子を特定するための検査および検査結果に基づく治療を受けた者に対し、費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図る。	助成件数 延15件	子ども未来部	母子保健課
③	不妊相談窓口		不妊や不育に悩む方への相談支援や治療に関する情報提供等について、専門的知識を有する医師等を配置して対応することにより、不安や精神的負担の軽減を図る。	一般相談件数 18件 専門相談件数 0件 ※R4開設	子ども未来部	母子保健課